



質問者 野本利明議員



新年度予算と施策について

問 私たちは「平成31年度施政方針」では、山本市長のカラーが初めて色濃く出てくるであろうと思っていた。今までの方針を踏襲し継続してゆくの、新たな方針に転換していくのかを伺う。

答 地方自治体が安定して持続可能な形で住民サービスを提供していくため、過去の延長線で議論するのではなく、将来の危機とそれを克服する姿を想像した中で、現時点から取り組むべき課題を整理し、今から方針転換していかなければならぬと感じている。

コンパクトシティについて

問 山本市長が言われる住み馴れた土地に住み続けられるまちづくりとコンパクトシティについての考えを伺う。

答 駅周辺整備事業による拠点整備や地域公共交通事業等への具体的な施策を推進することで本市の進めるコンパクトシティに向けたまちづくりへの理解を求めたい。

市街地調整区域では、多様な地域課題に対応し、地域の賑わいと活力を維持できるよう特別指定区域制度等を活用した建築規制緩和に取り組み、地域にあった土地利用を図りたい。

「市民が主役」の市政と「市長対話広場事業」について

問 市が抱えている問題や事業、計画を知らない市民が多い。市が事業計画や個別実施計画を作成する際、市民の周知と理解、協力を得るために説明をし、意見を聞くことは市長一人では到底無理である。職員が地域に何回も出向き理解と協力を得ることこそ「市民が主役」の市政といえる。その仕組みを「市長対話広場事業」と並行して市長

が構築されてはどうか。その手始めに、総論として「公共施設等総合管理計画」、各論として「公共建築物再編実施計画」について実施すべきと考えるがいかがか。

答 本市では、多くの公共建築物、インフラ資産を抱え、各施設の老朽化対策は、市民の理解を得つつ進めるべきものと理解している。本市公共施設等総合管理計画は市が保有する全ての施設を俯瞰的に捉え、将来の公共施設のあり方を長期的に推計し、基本方針を定義した計画である。個別建築物は、同計画で15種類に分類し、方向性を定め、再編には個別実施計画を作成している。施設は、福祉、文教の分野はもとより、道路橋りょう、上下水道など広範囲に及ぶことから、策定には市民の理解を得られるよう、市民からの提案や意見に耳を傾けたい。また、市長対話広場事業でも説明の機会があれば、可能な限り時間を設けていく。



質問者 永富靖議員



平成31年度施政方針及び予算について

問 市民は、市民病院の地方独立行政法人への移行により、採算の取れない医療の削減、また、医療サービスの低下を心配しているがどうか。

答 独法後も、採算の取れない救急医療や室津診療所のへき地医療は、市からの財政的な負担を含め、市民病院としての役割を受け継ぐこととなる。医療サービスの低下にかかる懸念については、地方自治法や地方公務員法の法的規制が解かれ、予算や人事面での制約が少なくなり、より自主的で柔軟な病院運営が可能となるため、医療サービスの向上を図ることができると考えている。

問 若者が流出しない、また、出て行っても帰って来たいまちであるために、ふるさとたつのを愛するところが大切だ。ふるさと教育推進事業をさらに拡充し、まちの魅力を機会あるごとに子供たちに伝える教育をさらに推進してはどうか。

答 平成29年度から「学ぶ力」向上支援事業を推進している。また「ふるさと教育推進事業」で、三木露風、野見宿禰や賀茂神社など市内の地域資源を盛り込んだ「たつの版キャリアノート」を作成し、「ふるさとたつの」一「地場産業や歴史・伝統を学ぶ取組を行っている。

問 「田舎暮らし」（宝島社発行）の子育て世代が住みたい田舎部門で本市が近畿5位になったが、特にどの様な取組が認められたと考えるか。

答 就学前児童への認定こども園の設置、待機児童ゼロ、小学生への英語教育、放課後児童クラブの設置、中学生への給食費無料化、海外へのホームステイ、中学生までの医療費無料化等が評価さ

れたと考える。
問 次世代教育推進事業の小学校英語教育で、英語嫌いにならないよう配慮はなされているのか、また、小・中学校の連携は取れているのか。

答 小学3、4年生で指導する外国語活動では、「聞く」「話す」活動を中心に、単語や文をリズムにのって表現するチャットや英語を用いたゲームを授業に組み込み、楽しみながら学習している。小学5、6年生では、さらに「読む」「書く」の技能が身につくよう指導をしている。本市では、小学校専任のALT3名を各小学校に週1回配置し、外国人講師からの指導の機会を提供している。小・中学校の連携は、市内小学校・中学校・龍野高等学校英語科の代表者が英語教育について研究する外国語部会を設け、授業の相互参観を実施し、意見交換を行っている。

る機会があれば、可能な限り時間を設けていく。

る機会があれば、可能な限り時間を設けていく。